第２章　データヘルス計画で目指す目標

本計画では、保険者として国民健康保険の持続可能な運営が求められていることから、医療費の抑制と生活習慣病対策を実施することで、市民の健康レベルに応じた健康の保持・増進を図り、健康寿命を延伸することを大きな目的としています。

Ⅰ　本計画全体の目的

【目的 1】被保険者を含む市民の健康寿命の延伸を目指します。
【目的 2】保険者としての医療費の適正化を推進します。

Ⅱ　第 1 期計画（平成 28 年度～平成 29 年度）の検証

1　第 1 期計画策定時の健康課題

1）糖尿病、高血圧症、脂質異常症の医療を受けながらもコントロールが不良な被保険者に対して、腎不全や脳梗塞などへの重症化予防が必要である。
2）健診で高血糖、高血圧、脂質異常状態にあり、治療が必要な被保険者に対し、腎不全や脳梗塞など重症化した状態になるのを防ぐため、生活習慣の改善と併せて医療機関を受診する必要がある。
3）40・50 歳代の被保険者が健診を受診し、自ら健康な生活習慣に気づき、取組むことにより、糖尿病や高血圧症、脂質異常症の発症を防止する必要がある。
4）40 歳代以前の若い世代に対して、生活習慣病の発症を予防するには、健康的な生活習慣が大切であることを啓発する必要がある。

2　第 1 期計画の目的

1）被保険者が自分自身の健康状態を理解し自主的に健康増進及び疾病予防に取り組むことで、健康寿命の延伸を図る。
2）生活習慣病の発症予防と重症化予防。

3　第 1 期計画の目標と対策

第 1 期計画は 3 つの目標と 4 つの対策を立てました。

目　　標	対　　策
1）糖尿病の発症と重症化の防止 2）40・50 歳代の健診受診率の向上 3）高血糖、高血圧、脂質異常者の数値の改善	1）生活習慣病重症化予防対策事業 2）生活習慣病発症予防対策事業 3）生活習慣病予防群の改善・コントロール対策事業 4）医療費適正化に向けての事業

4　第1期計画の実施結果と第2期計画への課題について

第1期計画を評価し、第2期計画への課題を整理しました。

■第1期計画の実施結果と第2期計画への課題

第1期計画の事業	第1期計画の取組内容	第1期計画の実施結果（平成28年度）	第2期計画への課題として
生活習慣病重症化予防対策事業	○糖尿病・糖尿病性腎症重症化予防事業	○参加率：抽出者のうち4.4%が参加した 効果：BMI・HbA1cの低下がみられた 透析新規導入数（国保特定疾病療養受療証交付人数）：31人（転入を含む）前年度と比較すると横ばい	○糖尿病及び糖尿病性腎症重症化予防事業の継続実施と拡大 ○フォロー体制の構築が必要である
	○腎機能評価の充実と支援	○集団健診受診者 5,744 人、eGFR 精密検査者は 229 人、受診勧奨対象者は 155 人（電話勧奨 137 人、通知勧奨 18 人）、精険受診率は 72.9%	○腎機能評価事業の継続と事業の充実
	○医療機関との連携	○医療機関と連携した	○医療機関との更なる連携強化
生活習慣病発症予防対策事業	○40歳代・50歳代への特定健診受診勧奨	○40歳代:2.8%増、50歳代:1.7%増 特定健診受診率：31.7%（2.3%増）	○特定健診の受診率は年々向上しているが、目標値には達していない。引き続き受診率向上を目指して取り組む必要がある
	○かかりつけ医による情報提供	○情報提供数：200件（横ばい状況）	
	○健診を受けやすい体制の整備	○完全申込制の実施（H28～） 集団健診申込者の受診率 96.2%	
	○職域との連携	○職域の情報提供数：82件分（法定報告：77件分）	○未受診者の受診勧奨事業等については、各事業の見直しと強化を図りながら継続して実施
	○健康についての効果的な情報発信	○機会を捉えて情報提供を実施　食生活改善推進委員会での会員研修のテーマとして実施した。	
生活習慣病予備群の改善・コントロール対策事業	○対象者に合わせた健康支援・特定保健指導	○特定保健指導の終了率：31.1% （積極的支援：12.5%、動機付け支援：39.8%） ○結果説明会参加率：特定保健指導対象者：51.8%、高血糖状態者：72.9%	○特定保健指導 結果説明会の終了率の向上、人間ドック等の指導状況の把握及び中断者のフォロー体制の検討が必要である
	○運動習慣・食習慣の改善継続に取り組める体制づくり	○運動教室参加率：2.4% 参加者はBMIとHbA1cの改善が見られた	○生活習慣病予防事業の見直しと関係機関との連携強化を継続して行っていく
	○関係機関との連携強化	○関係機関と連携を図った	
医療費適正化に向けての事業	○重複・頻回受診者への適切な受診指導	○重複・頻回受診者：抽出者の26.9%が参加した	○外部委託による継続実施
	○ジェネリック薬品の使用促進	○ジェネリック薬品への切替え：通知を3回送付、削減効果額総計 10,024,222 円	○関係機関との連携を検討する
	○重複服薬指導		

Ⅲ　第２期計画（平成 30 年度～平成 35 年度）について

１　第２期計画に向けて見えてきた健康課題

第１期計画の検証に加え、レセプトなどの分析から、健康課題が見えてきました。

【課題 1】特定健診受診率が低迷している

・特定健診の受診率は年々上昇しているが、目標値に達していない。

受診率を年齢・男女別で見ると、40・50 歳代の男性の受診率が低い状況であった。

・個別医療機関健診、簡易脳ドックの受診者数は減少傾向が見られ、また、委託できる医療機関も拡大していない。

・集団健診の受診者数は上昇したが、定員数には達していない。

【課題 2】特定保健指導の終了率が低迷している

・特定保健指導の終了率は上昇しているが、目標値には達していない。

・人間ドック・簡易脳ドック受診者の特定保健指導対象者の把握やフォローが充分できていない。

【課題 3】生活習慣病対策が必要である

・特定健診の有所見率をみると、HbA1C・LDL-コレステロール・収縮期血圧・血糖が高く、山梨県と比較すると男女とも HbA1C・尿酸値が高く、それ以外に男性では、腹囲・LDL-コレステロール・心電図異常が高いことがわかった。

（平成 28 年度データから）

【課題 4】日ごろからの健康づくりを進めていく必要がある

・内臓脂肪症候群（以下「メタボ」という。）及びメタボ予備群、非メタボ高血糖者の割合を山梨県の集計値と比較すると、本市の「メタボ・メタボ予備群」は低く、「非メタボ高血糖者」の割合が高かった。

※非メタボ高血糖者…メタボに該当しないが、血糖値が高い人のこと。

【課題 5】歯科の受診件数が多く、医療費に占める割合が高い

【平成 28 年５月レセプトから】

・各年齢において歯科受診が多い傾向がみられた。受診件数の中で「歯肉炎及び歯周炎」は全体の２位、「う歯」は３位であった。医療費総額に占める割合で、「う歯」は４位であった。

※う歯＝むし歯

【課題 6】後発医薬品の利用を進めていく必要がある

・後発医薬品の使用割合は 62.4%（平成 28 年度）で、全国平均よりも低い状況である。

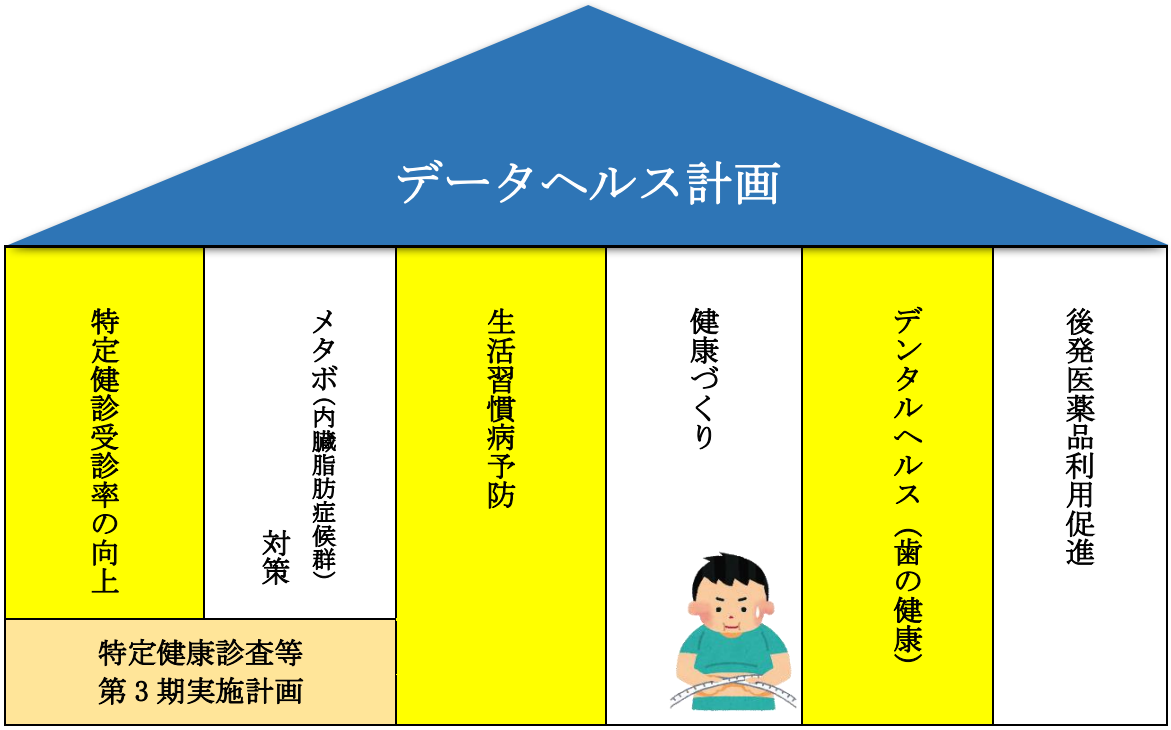
2　第 2 期計画の目的と目標及び対策

1）第 2 期計画の目的

1）市民の健康レベルに応じた健康の保持増進の推進
2）保険者としての医療費適正化

2）第 2 期計画の目標と対策

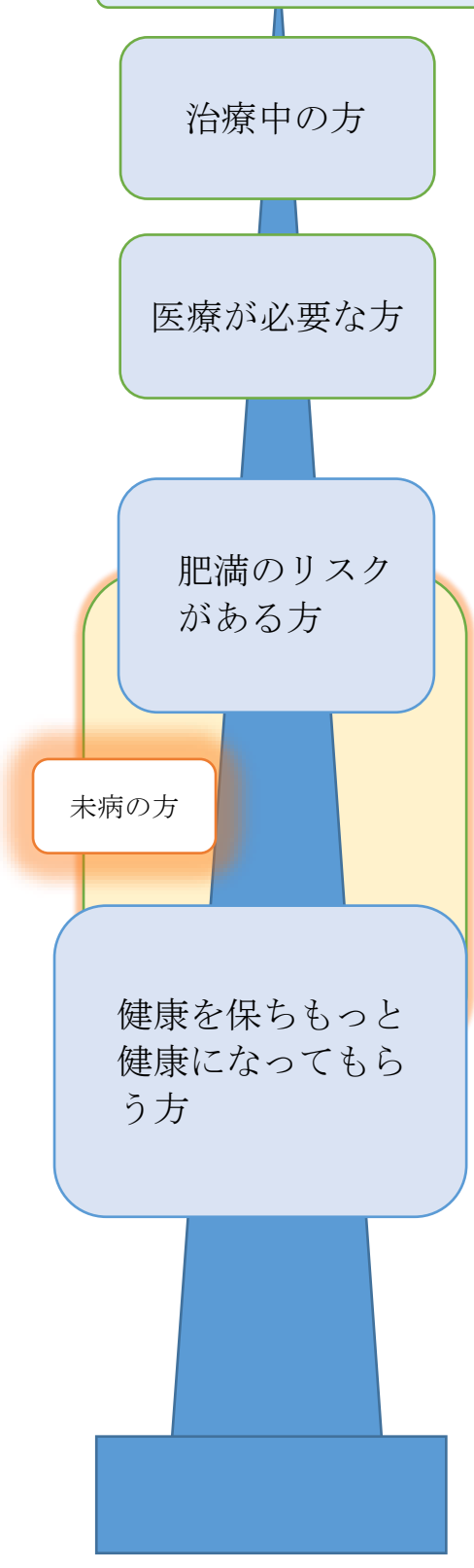
	目　　標	対　　策
1	特定健診受診率の向上	市民が健診を毎年受けたいと思えるようにする対策
		無関心対象者層への対策
		市の健診以外で健診を済ませている対象者の把握対策
2	メタボ対策	特定保健指導率の向上対策
		特定保健指導の未参加者・中断者の指導体制の強化
3	生活習慣病予防	特定健診結果の効果的な活用
		レセプト情報の効果的な活用
4	健康づくり	自分の健康に関心を持ってもらうための働きかけ
		健康の保持増進対策
5	デンタルヘルス	子どものむし歯予防対策
		その他のむし歯等予防対策
6	後発医薬品利用促進	後発医薬品の利用促進対策



Ⅳ　第２期データヘルス計画における対策のイメージ

1）市民の健康レベルに応じた健康の保持増進の推進
2）保険者としての医療費適正化

【　第２期計画の主な内容　】



【生活習慣病（重症化）予防】…病気の重症化を予防する対策

・糖尿病性腎症の重症化予防事業を行います
・治療中断者への受診勧奨通知事業を行います

【生活習慣病予防】…治療が必要な方が確実に医療につながり重症化させない対策

・健診異常値放置者の受診勧奨通知を行います
・慢性腎臓病予防対策を行います
・高血糖状態者の健康相談事業を行います

【メタボ対策】…肥満を解消して生活習慣病の発症を予防する対策

・個別医療機関健診受診者の特定保健指導対象者に対して初回面接参加率を増やすための工夫を行います
・運動教室・栄養教室について参加しやすい日程や内容を検討します
・人間ドック受診者の特定保健指導体制の充実を図ります

【特定健診受診率の向上】…健診を受けて健康状態を確認していただく対策

・受けやすい健診の体制整備をしていきます
・地区組織の方々と連携して特定健診受診等の意識啓発をします
・未受診者の方には、受診勧奨はがき（40・50 歳代を中心に全年齢の未受診者の方）を送り、特定健診の受診を勧めます
・市の健診以外で既に健診を受けた方の情報を、かかり付け医からいただく「情報提供のしくみ」を拡大します

【健康づくり対策】

・健康ポイント、すこやかヘルスアップ事業、ウォーキング健康教室を実施します
・血糖簡易測定事業、地区健康教育など保健事業を提供します

【デンタルヘルス（歯の健康）対策】

・「歯の健康」の大切さについて、今まで以上に啓発していきます
・1 歳 6 ヶ月児健診、2 歳児歯科健診、3 歳児健診　成人歯周疾患健診（妊婦の歯科健診）、口からはじまる健康づくり教室、4・5 歳児すくすく発育歯科健診などの保健事業を提供します

【後発医薬品（ジェネリック）利用促進】

・利用促進の通知を継続します